第10号議案

議題１　全国大会実施基準改定に関して

①改定スケジュールの変更について

　日連では、令和２年度臨時代議員会において「全国大会実施基準改定スケジュール」の一部変更について提案し、承認されました。しかしながら、全国大会実施基準検討委員会ならびに中央指導委員会において協議した結果、以下に示したような理由により、次ページ掲載の表のとおり再度変更するよう検討しましたのでここに提案いたします。

≪改定スケジュール変更の理由≫

（ア）平板測量競技会

　　令和２年度より実施基準の改定について検討して参りましたが、同年度に実施した全国アンケートにおい

て７３%の単位クラブが「現状のままで問題ない」と回答していることや、実施基準の難化によって出場者数

の減少などのデメリットも予測されることから、改定は行わないこととして提案いたします。

また、平板測量競技会の廃止や、平板測量に替わる新たな測量競技を求める意見もありましたが、平板測量は測量の基礎・基本を学ぶうえでいまだ重要な技術であること、新しい学習指導要領においても引き続き指導項目として位置づけられていること等から、継続することといたします。

一方、採点基準と審査結果の公表に関して、これまでの大会では個別の審査結果が公表されていないことから、「どこが減点されたのかわからず次年度に活かすことができない」、「採点基準が不明瞭である」、「順位や得点、課題などが公表されていないため、指導の改善につなげられない」といったご意見が寄せられております。日連としては、こうしたご意見を踏まえ、全国大会事務局と連携しながら今年度北陸大会における審査結果の公開方法について検討いたします。

（イ）農業鑑定競技会

新たな実施基準の作成にあたっては、新しい学習指導要領（平成30年告示）に基づいて編集された検定済

教科書の内容と照らし合わせを行う必要があります。しかしながら、一部の大項目（科目）において、教科書の検定および発行が令和５年度または６年度以降となることが見込まれております。そこで、新しい教科書との照合作業をできる限り丁寧に実施できるよう、新基準案の提示を令和５年度に延期することを軸に、改定作業のスケジュールを表のとおり変更するよう提案いたします。

【補足事項】

新基準による競技開始については従来の予定通り令和６年度岩手大会からとしますが、各単位クラブにおいては新しい教科書の入手が遅れる可能性もあること等から、同年度大会の出題については選手に不利とならないよう配慮いたします。また、令和６年度以降に発行される教科書との照合作業は同年度以降に実施することとなるため、新基準については修正が加えられる可能性がありますのでご承知おきください。

なお、例年は４月１日に翌年度の実施基準冊子を発行しておりますが、改定スケジュールの変更に伴い、

令和６年度の発行は春季代議員会終了後の５月中旬以降となる予定です。

（ウ）ＦＦＪナビゲータ

　　新学習指導要領実施に伴い令和４年度から改訂した新版のＦＦＪナビゲータを発行する予定でしたが、検

　討作業に時間を要していることから、新版の発行を令和５年度に延期することとしました。改訂の主な内容とては、Ａ４版・全ページカラー化とすることや、図や写真を多く用いる、ＷＥＢページとのリンク等を予定しております。

表　全国大会実施基準等改定スケジュール（変更案）※令和２年度臨時代議員会のものを一部変更

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 全国大会開催年度および開催地 | 学習指導要領改訂ｽｹｼﾞｭｰﾙ | 学年進行 | 実施基準等改定スケジュール（中央指導委員会） |  |
| プロジェクト発　表　会 | 意　見発表会 | 平板測量競 技 会 | 農業鑑定競 技 会 | クラブ員代表者会　議 | ＦＦＪﾅﾋﾞｹﾞｰﾀ |
| 平成29（2017）年度第68回岡山 | 改訂（末） |  | ○今後の学習指導要領改訂について情報収集・理解・研究、○現行の実施基準における課題の洗い出し　 ○農業クラブ員に求める力の明確化 |
| 平成30（2018）年度第69回鹿児島 | 周知・徹底 |  |  |  | 実施基準一部改定 | 分野の改定検討 |  |  |
| 令和元（2019）年度第70回南東北 |  |  | 分野の改定検討実施基準の改定検討 | 分野の改定検討実施基準の改定検討 |  | 大項目の構成について検討の方向性を示す |  | 検討開始・編集委員の委嘱 |
| 令和２(2020)年度第71回静岡 | 教科書検定 |  | 新分野の方向性を示す | 新分野の方向性を示す | 競技の改訂検討・調査 | ①春季代議員会にて大項目(案)の提示（郵送による議案承　認依頼）②アンケート実施（意見集約）③臨時代議員会にて改定スケジュールの変更案提示 | アンケート調査実施 | 検討・編集 |
| 令和３（2021）年度第72回兵庫 | 採択・供給 |  | 新分野について春季代議員会で提案、秋季代議員会で確定 | 新分野について春季代議員会で提案、秋季代議員会で確定 | 実施基準の見直し箇所の検討 | ①春季代議員会にて大項目決定②中項目・小項目・出題範囲の検討③秋季代議員会にて中項目・小項目の構成と出題範囲の内容について方向性を示す | クラブ員代表者会議の実施基準について検討 | 検討・編集 |
| 令和４（2022）年度第73回北陸 | 使用開始 | 1学年のみ新課程 | 新基準の方向性を示す | 新基準の方向性を示す | ①春季代議員会にて実施基準の改定に関する検討結果を提示　　　　②審査基準および採点結果の公開に関して検討 | ①中項目・小項目・出題範囲の詳細検討②春季代議員会にて改定スケジュールの変更案提示③秋季代議員会にて進捗状況報告 | 実施基準について秋季代議員会にて提案 | ①検討・編集②年度末完成 |
| 令和５（2023）年度第74回熊本 |  | 1・2学年新課程 | 新基準について春季代議員会にて提案、秋季代議員会で確定 | 新基準について春季代議員会にて提案、秋季代議員会で確定 |  | ①春季代議員会にて進捗状況報告②秋季代議員会にて新基準（案）を提示③全国アンケート実施 | 実施基準について春季代議員会で確定 | 新訂版配本開始 |
| 令和６（2024）年度第75回岩手 |  | 全学年新課程 | 新基準にて実施 | 新基準にて実施 |  | ①春季代議員会にて新基準の決定②５月中旬以降、新基準冊子発行③新基準にて実施 | 新基準にて実施 |  |

②プロジェクト発表会・意見発表会について

（ア）プロジェクト発表会・意見発表会に関する実施基準改定の検討過程

（令和２年度）

　　　５月　春季代議員会において新分野の方向性を示す。

　　　８月～１０月　「全国大会実施基準改定に向けたアンケート」を実施した。

　　１１月　中央指導委員会にて、同アンケートの回答内容について確認した。

　　１２月　中央指導委員会にて、同アンケートの回答内容等を踏まえて作成した「新分野」について協議し

た。

　　　３月　令和２年度全国大会実施基準検討委員会において、「新分野」について協議し、令和３年度春季代

議員会における提案内容について検討した。

（令和３年度）

　　　５月　春季代議員会において新分野の提案をした。

　　１０月　秋季代議員会において新分野の決定をした。

　１２月　令和３年度第１回全国大会実施基準検討委員会において、実施基準改定の方向性について検討・

協議した。

　　　３月　全国大会審査員・実施校へ「全国大会アンケート」を実施した。

　　　　　　令和３年度第２回全国大会実施基準検討委員会において、実施基準の方向性について検討・協議

した。

（イ）プロジェクト発表会　新基準の方向性について

令和２年度に実施したアンケートの回答や、実施基準検討委員会・中央指導委員会での協議内容も踏まえ、

以下に示す項目については改定を行わず、現行基準のまま引き継ぐよう提案いたします。主な理由としては、

令和２年度に実施したアンケートでもこれらの項目について触れている内容のものは見当たらなかったこと

や、前述の会議においても改定に向けた意見は出されなかったことが挙げられます。

　 （２）出場資格

　　　 （３）発表方法

　　　 （４）発表および準備時間

　　　 （５）発表者および発表補助者

　 （６）審査及び審査会

　　　 （７）表彰

（ウ）プロジェクト発表会　新基準に向けた今後の予定

　　 以下の項目について、改定に向けた方向性を令和４年度秋季代議員会において提案する予定です。

　 （８）事前資料

　　　 （９）審査基準と配点

　　　　 プロジェクト発表会実施基準についての補足説明

（エ）意見発表会　新基準の方向性について

令和２年度に実施したアンケートの回答や、実施基準検討委員会・中央指導委員会での協議内容も踏まえ、

以下に示す項目については改定を行わず、現行基準のまま引き継ぐよう提案いたします。理由は、プロジェ

クト発表会と同様です。

　 （２）出場資格

　 （３）発表方法

　 （４）発表時間

　 （５）審査および審査会

　　　 （６）表彰

（オ）意見発表会　新基準に向けた今後の予定

　　 以下の項目について、改定に向けた方向性を令和４年度秋季代議員会において提案する予定です。

（７）事前資料

　　　 （８）審査基準と配点

　　　 　意見発表会実施基準についての補足説明